



# 愛宕坂だより



春号 No.72 2023.4.20

発行：福井市愛宕坂茶道美術館・福井市橘曙覧記念文学館

福井市愛宕坂茶道美術館 企画展

## ふり 振 ちゃ 茶

開催中～5月14日(日)

令和2年3月に新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんど開催することができなかった、令和元年度特別展「日本茶々茶 お茶紀行 振茶の里を訪ねて」を、企画展「振茶」として、再び開催しています。「振茶」初めて聞いた言葉かもしれませんが、「ふりちゃ」と読みます。昔は日本各地に、泡を立てて飲むお茶の習慣がありました。

泡を立てるといっても、抹茶ではありません。番茶や玄米茶など、普段飲んでいるお茶を泡立てます。多くは廃れてしまった習慣ですが、新潟のバタバタ茶や島根のぼてぼて茶など、まだ残っている地域があります。北は新潟から南は沖縄まで、全国7か所、振茶を大切に守り継承している人々を訪ねました。

本展では各地の振茶の歴史や使用する道具について、そして今はどんな風に飲まれているのかなどなど、詳しく紹介します。さあ皆さんも一緒にふりふり♪振茶を楽しみましょう。



福井市愛宕坂茶道美術館 企画展

りょうふうさつさつ

## 涼風颯々 夏の茶道具

5月18日(木)～8月27日(日)

5月上旬の立夏を過ぎるころから、季節はしだいに夏めいてきます。

茶の湯では、席の装いを炉から風炉に改めます。炉と風炉とでは茶の趣が大きく変化します。

本展では、暑い時季に合わせた茶道具の取り合わせをご紹介します。当館の道具たちが運ぶ涼しい風をぜひ味わってください。



福井市橘曙覧記念文学館 企画展

## 作家と鳥



開催中～5月21日(日)

春の足羽山では、朝早くからいろんな鳥たちが美しい声で鳴き、かわいらしい姿を見せてくれます。

これまで当館では、作家と「猫」「犬」をテーマに企画展を開催してきましたが、今回は「鳥」に注目しました。曙覧を入り口に、夏目漱石や内田百閒、中西悟堂、金子みすゞほか、12人の文学者たちと鳥にまつわる作品を取り上げています。鳥に魅了された作家たちの小説、随筆やエピソードをお楽しみください。鳥のさえずに導かれつつ、どうぞ文学館に足をお運びください。



福井市橘曙覧記念文学館 企画展

## 描かれた曙覧の姿

5月25日(木)～9月3日(日)

幕末の福井で暮らし、歌人、国学者として知られた橘曙覧には写真が残されていません。そのため、曙覧の姿を一番正確に伝えているとされるのは、越智通兄によって生前に描かれた一枚の肖像画です。

没後、曙覧の作品や業績が評価されるにしたがい、さまざまな姿が描かれてきました。本展では、現代までに描かれた曙覧の絵画、イラストなどを展示し、あわせて曙覧の子供たちの写真や、似ていると伝えられる子孫の写真などをご紹介します。展示資料を通し、曙覧の真の姿に迫ることにできれば幸いです。



越智通兄筆橘曙覧肖像画 (当館蔵)

## いろいろトピックス

◆美術館 ◆文学館

### ◆バタバタ茶（新潟県・糸魚川市）のふるまい

3月12日（日）、バタバタ茶の会代表・石田千枝子氏を迎えて、美術館ロビーでふるまいを行いました。

このお茶を飲むのを楽しみに待っていたお客様もいらっやあって、バタバタ茶専用の夫婦茶筌を使ってリズムカルにお茶を泡立てていました。

3月26日（日）と4月9日（日）には、館の職員による、「富山県・朝日町のバタバタ茶」と「島根県・松江市のぼてぼて茶」のふるまいも行われ、どちらもたくさんのお客様でにぎわいました。

### ◆◆2023春 灯の回廊

3月25日（土）～4月9日（日）までの間、愛宕坂を行灯140基のあかりで照らす「灯の回廊」が行われました。今年は桜の開花が例年よりも早く、初日から大勢のお客様が訪れました。昨年好評だったカラフル



な手提灯は今年も登場。数を増やして、たくさんの方に楽しんでいただきました。茶室の通路には、MasunagArtのメガネのチタン端材で作られたガンキョウリュウや茶筌型行灯等が飾られ、愛宕坂をにぎやかに演出しました。期間中、親子を対象にしたワークショップも開かれ、魔法のランプ作りやミニ灯ろう作りなどが行われました。

### ◆愛宕坂さくら音楽会 2023

#### 「CHANPRU-CHAMBRE 沖縄唄三線&アコーディオンライブ」

4月1日（土）、西山朝子氏、森健太郎氏を迎えて沖縄音楽のライブを開催しました。さわやかな歌声とどこか懐かしさを感じさせるアコーディオンの音色に、皆さん聴き入っていました。手拍子を打ったり手踊りをしたりするなどお客様が参加する場面もあり、楽しいライブとなりました。



### ◆春のスペシャルマジックショー

4月8日（土）、福井市出身のマジシャン・松旭斎天一をしのび、当館では初めてマジックショーを開催しました。Mr.ソロ氏（福井奇術同好会）と井上僚太氏が出演され、鳩が飛び出すなど見事なマジックをご披露くださいました。ご家族での参加も多く、にぎやかな一日となりました。



## — 休館日のご案内 —

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

※展示替えのため、下記の期間は臨時休館します。

愛宕坂茶道美術館 5月16日（火）～17日（水）

橘曙覧記念文学館 5月23日（火）～24日（水）

## 参加者募集のお知らせ

### ◆古典をたのしむ美文字レッスン（前編）

今年も『源氏物語』を題材に文字の練習をします。古典文学をたのしみながら美文字を目指してみませんか？

とき：6月24日（土）、7月22日（土）、  
8月26日（土） 3回連続講座

各回10：00～11：30

講師：吉水奈方子氏（書道講師）

会場：愛宕坂茶道美術館4階

参加費：各回300円（練習用ペン代含む）

定員：12名（抽選） ※中学生以上対象

申込み：往復はがき、メール、申込みフォームで受付。必要事項を記入してお申し込みください。①講座名、②住所、③氏名、④電話番号、⑤年齢、⑥ご希望の筆記用具（ペンまたは筆ペンを選択）。1通につき2名まで申し込み可。

〆切：6月1日（木）

### ◆金継ぎにチャレンジ！

欠けたりひびが入ってしまった陶磁器を、漆と金粉でよみがえらせます。2回連続講座

とき：7月30日（日）、8月6日（日）

①10時の部 10：00～11：00

②11時30分の部 11：30～12：30

ところ：愛宕坂茶道美術館4階

定員：各部8名（抽選）

参加費：2,000円～（修理する器の状態、数で金額が変わります）

指導：駒本長信先生（駒本蒔絵工房）

申込み：電話、FAX、館メール受付。

希望の時間帯、氏名、年齢、住所、電話番号をお知らせください。〆切：7月1日（土）



## 愛宕坂茶道友の会 茶会のお知らせ

とき：5月21日（日）「若葉の茶会」

6月11日（日）「水無月の茶会」

参加費：一般700円 友の会会員：500円

申込みは、一週間前の土曜日、午前9時から美術館の窓口、電話にて受付。友の会会員の方は、先行予約があります。

※5月は4階椅子席、6月は茶室での茶会となります。詳細については美術館までお問い合わせください。

愛宕坂だより 春号 No.72 (2023.4.20)

◆福井市愛宕坂茶道美術館

〒918-8007福井市足羽1-8-5 TEL/0776-33-3933

e-mail:sa-do@do-spot.net

◆福井市橘曙覧記念文学館

〒918-8007福井市足羽1-6-34TEL/0776-35-1110

e-mail:akemi-t@do-spot.net